



# 萩の里

黒部市立萩生小学校

学校だより 11号

平成30年1月12日

目指す子供の姿 **やさしく** **かしこく** **たくましく**

「少し大変そうな道を選ぶ勇氣」 ～ なりたい自分につながる今 ～

校長 金三津 ひろみ

平成30年を迎え、3学期が始まりました。

17日間の休みを終え、学校には子供たちの元気いっぱいの声が戻ってきました。始業式では、各学年の代表が「縄跳びが難しいので練習したい」「2学期、友達に応援されて勇氣が出たので、3学期も友達と声をかけ合ってがんばりたい」「自学ノートで7冊達成したことがないので今年こそはがんばる」「試合で悔しい思いをしないように練習をがんばりたい」「勉強も運動も生活も2学期にできなかったことをがんばりたい」「恥ずかしがらずに進んで発表したい」など、「新年の目当て」を発表しました。緊張しながらも堂々と自分の目当てを発表する子供たちの姿はとてもまぶしく、聞いている方も身が引き締まりました。わたしからは、次のような話をしました。



始業式に当たって、皆さんに伝えたいことは「少し大変そうな道を選ぶ勇氣をもってほしい」ということです。大変そうなことと楽そうなことがあったとき、難しそうな課題と簡単にできそうな課題があったとき、どちらを選ぶかという姿勢のことです。今のことだけを考えると、楽そうに見えること、簡単にできそうなことを選びたい気持ちになるかもしれません。けれども、ほんの少しずつ、大変そうなことや難しそうなことに挑戦し続けた人は、自分の未来にたくさんの蓄えをすることになります。今、がんばりたいことを発表してくれた人たちは、「難しい方、大変そうな方」を選ぼうとしていることが伝わってきました。ほんの少しずつの積み重ねは、やがて大きな差となって未来を変えていきます。たとえ時間がかかっても、簡単にはできなくても、大変な思いをして取り組んだことは、必ず自分の力になります。今できなかったことも、次はできるかもしれません。皆さんには、目先の得や今の楽しさだけを考えるのではなく、もう少し先の「なりたい自分につながる今」を考えて行動する人になってほしいと思います。

勇氣をもって、少し難しそうに見えること、大変そうに感じられることの方を選び、諦めずに挑戦し続けることで、自分に自信をもち、今の学年を終えることができるよう願っています。

新年を迎えたこの時期、多くの子供が、「今年の目標」「なりたい自分の姿」を思い描き、いつも以上に張り切っています。一方で、誰にも、少しくまかないとすぐ諦めそうになったり、安易な道を選びたくなったりする弱い面もあります。子供たちの「がんばりたい気持ち」を支え、「少し大変そうな道を選ぶ勇氣」を高めることができるよう、職員一同、精一杯がんばりたいと思います。

3学期もご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。